

2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月13日

上場会社名 株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 2769 URL <https://www.village-v.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白川 篤典
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 山崎 裕康 TEL 052-769-1150
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第1四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	5,871	△2.8	△195	—	△181	—	△220	—
2023年5月期第1四半期	6,038	1.2	18	—	24	—	4	—

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 △224百万円 (—%) 2023年5月期第1四半期 △8百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	△32.00	—
2023年5月期第1四半期	△3.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第1四半期	23,914	7,267	30.3
2023年5月期	23,630	7,612	32.1

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 7,251百万円 2023年5月期 7,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年5月期	—	—	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	27,991	10.7	368	183.0	298	120.7	126	350.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期1Q	7,861,700株	2023年5月期	7,861,700株
② 期末自己株式数	2024年5月期1Q	16,701株	2023年5月期	16,001株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期1Q	7,845,691株	2023年5月期1Q	7,848,548株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	80,000.00	80,000.00
2024年5月期	—				
2024年5月期（予想）		0.00	—	80,000.00	80,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年6月1日～2023年8月31日)におけるわが国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、緩やかな持ち直しが続いております。その一方で世界的なエネルギー・食料価格の高騰等による世界的な景気後退懸念など、わが国経済を取り巻く環境は先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましても、急激な円安の進行、原油高騰、原材料価格の高騰による度重なる値上げ等により、消費者の節約志向、低価格志向が一層高まったことで、業種業態を超えた販売競争がさらに激化するなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、いままで世の中になかった独創的なワン・アンド・オンリーの空間をお客様に提供し続けるという理念のもと、店舗事業部・POPUP事業部・オンライン事業部の3つの事業を柱とし、ヴィレッジヴァンガードでしか表現することのできない、お客様に新しい発見や驚き、楽しさを体感していただくべく、新たな事業価値の創出・向上に取り組んでまいりました。

このような事業活動の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、5,871百万円と前年同四半期と比べ166百万円の減収(2.8%減)となりました。売上総利益は、売上高の減少が影響し2,318百万円と前年同四半期と比べ163百万円の減益(6.6%減)となりました。また販売費及び一般管理費の削減に取り組んでまいりましたが、営業損失は195百万円(前年同四半期は18百万円の営業利益)、経常損失は181百万円(前年同四半期は24百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は220百万円(前年同四半期は4百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①ヴィレッジヴァンガード

ヴィレッジヴァンガードは、お客様にお買い物を楽しんでいただくため、独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。

各店舗では、書籍・SPICE(雑貨類)及びニューメディア(CD・DVD類)、アパレル等の商材を融合させ、店舗独自の「提案」を展開しております。

主な業態店舗としては、「遊べる本屋」から「コト」も含め取扱分野を広げた「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、アウトレット業態「Vintage Vanguard」、オリジナル企画商品などのWeb販売「ヴィレッジヴァンカード オンラインストア」等を運営しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は、5,871百万円と前年同四半期と比べ166百万円の減収(2.8%減)となりました。売上総利益は、売上高の減少が影響し2,381百万円と前年同四半期と比べ163百万円の減益(6.6%減)となりました。また販売費及び一般管理費の削減に取り組んでまいりましたが、営業損失は195百万円(前年同四半期は18百万円の営業利益)となりました。

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店2店を出店し、直営店4店を閉鎖したことにより、直営店301店、FC店4店の合計305店となりました。

②その他

当社グループには海外事業として海外子会社が2社ありますが、比利緹卡(上海)商貿有限公司につきましては2016年3月末をもって店舗を閉鎖、TITICACA HONGKONG LIMITEDにつきましても2017年6月末をもって店舗を閉鎖しております。今後、順次、会社清算へ向けた手続きを進めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、21,034百万円となりました。これは、現金及び預金が347百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.2%減少し、2,879百万円となりました。これは、建物及び構築物(純額)が14百万円、ソフトウェアが26百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.2%増加し、23,914百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて17.6%増加し、8,923百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が240百万円減少したものの、短期借入金が増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8.4%減少し、7,723百万円となりました。これは、長期借入金が増加したものの、長期借入金が増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.9%増加し、16,646百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて344百万円減少し、7,267百万円となりました。これは、利益剰余金が340百万円減少したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ347百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末には4,338百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は5百万円(前年同四半期は128百万円の支出)となりました。これは、減価償却費72百万円、売上債権の減少額98百万円、仕入債務の増加額152百万円があったものの、税金等調整前四半期純損失206百万円、棚卸資産の増加額126百万円があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は82百万円(前年同四半期は5百万円の支出)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出36百万円、無形固定資産の取得による支出12百万円、差入保証金の差入による支出44百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は434百万円(前年同四半期は740百万円の収入)となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出896百万円、配当金の支払額120百万円があったものの、短期借入金の増加額1,502百万円があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月14日の「2023年5月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,991	4,338
売掛金	1,589	1,487
商品	14,675	14,801
その他	462	413
貸倒引当金	△3	△5
流動資産合計	20,714	21,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,189	1,175
その他（純額）	84	78
有形固定資産合計	1,273	1,253
無形固定資産		
ソフトウェア	240	214
ソフトウェア仮勘定	47	52
その他	1	1
無形固定資産合計	289	268
投資その他の資産		
長期前払費用	49	44
差入保証金	1,302	1,312
その他	1	1
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,352	1,357
固定資産合計	2,915	2,879
資産合計	23,630	23,914

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,212	3,365
短期借入金	153	1,655
1年内償還予定の社債	57	42
1年内返済予定の長期借入金	3,053	2,812
未払金	363	301
未払法人税等	16	7
未払消費税等	45	85
契約負債	43	43
株主優待引当金	28	19
賞与引当金	50	22
資産除去債務	3	8
その他	557	558
流動負債合計	7,585	8,923
固定負債		
社債	318	297
長期借入金	6,313	5,658
長期末払金	31	21
役員退職慰労引当金	418	422
退職給付に係る負債	156	153
資産除去債務	1,140	1,121
その他	53	48
固定負債合計	8,432	7,723
負債合計	16,017	16,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,330	2,330
資本剰余金	3,807	3,807
利益剰余金	1,498	1,158
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,637	7,296
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△12	△8
為替換算調整勘定	△28	△35
その他の包括利益累計額合計	△40	△44
新株予約権	16	16
純資産合計	7,612	7,267
負債純資産合計	23,630	23,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
売上高	6,038	5,871
売上原価	3,555	3,552
売上総利益	2,482	2,318
販売費及び一般管理費	2,463	2,514
営業利益又は営業損失(△)	18	△195
営業外収益		
仕入割引	6	6
業務受託料	24	24
その他	13	21
営業外収益合計	44	52
営業外費用		
支払利息	33	33
営業外支払手数料	0	0
その他	4	4
営業外費用合計	38	38
経常利益又は経常損失(△)	24	△181
特別損失		
固定資産除却損	-	6
減損損失	-	18
特別損失合計	-	25
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	24	△206
法人税等	20	14
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4	△220
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△220

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	4	△220
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	3
為替換算調整勘定	△12	△7
その他の包括利益合計	△12	△3
四半期包括利益	△8	△224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8	△224

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	24	△206
減価償却費	77	72
固定資産除却損	-	6
減損損失	-	18
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	2
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	33	33
営業外支払手数料	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	154	98
棚卸資産の増減額(△は増加)	△51	△126
仕入債務の増減額(△は減少)	3	152
未払消費税等の増減額(△は減少)	△100	39
その他	△158	△35
小計	△13	59
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△34	△35
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△80	△28
営業活動によるキャッシュ・フロー	△128	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16	△36
無形固定資産の取得による支出	△7	△12
差入保証金の差入による支出	△3	△44
差入保証金の回収による収入	31	33
その他	△9	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5	△82
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,803	1,502
長期借入れによる収入	100	-
長期借入金の返済による支出	△1,007	△896
社債の償還による支出	△15	△36
営業外支払手数料の支出	△0	△0
割賦債務の返済による支出	△19	△14
配当金の支払額	△120	△120
財務活動によるキャッシュ・フロー	740	434
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	607	347
現金及び現金同等物の期首残高	5,066	3,991
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,673	4,338

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り）

前連結会計年度の有価証券報告書の重要な会計上の見積りに記載した、新型コロナウイルス感染症の影響については、5類感染症への移行に伴い2023年度にかけて徐々に回復していくとの仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年6月1日至2022年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	ヴィレッジヴァンガード				
売上高					
外部顧客への売上高	6,038	-	6,038	-	6,038
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,038	-	6,038	-	6,038
セグメント利益	18	△0	18	-	18

(注) 1. 「その他」の区分は、比利緹卡(上海)商貿有限公司及びTITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年6月1日至2023年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	ヴィレッジヴァンガード				
売上高					
外部顧客への売上高	5,871	-	5,871	-	5,871
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-
計	5,871	-	5,871	-	5,871
セグメント損失(△)	△195	△0	△195	-	△195

(注) 1. 「その他」の区分は、比利緹卡(上海)商貿有限公司及びTITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間に「ヴィレッジヴァンガード」セグメントにおいて、18百万円の減損損失を計上しております。